

Stage Up

2004年

6

月号

生涯学習情報誌
ステージ・アップ
通巻 No. 131



「憩い・安らぐ」(等々力フィッシングコーナー)：佐藤 尚 画

もくじ

- 2 特集 ふれあいサマーキャンプ
- 4 いま地域で学校で
- 5 ぐるーぷBOX / 暮らし百景 歌壇
- 6 生涯学習ア・ラ・カルト
- 8 イベントパーク

発行・(財)川崎市生涯学習振興事業団
〈ホームページ〉 <http://www.kpal.or.jp>

〒211-0064 川崎市中原区今井南町514-1
TEL 044 (733) 5560(代)/FAX 044 (739) 0085
TEL 044 (733) 5811 (ステージ・アップ直通) E-メール:stage-up@kpal.or.jp

特集

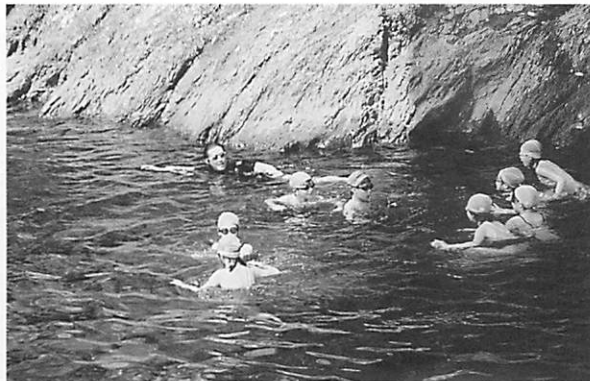
ふれあいサマーキャンプ

夏休み 大自然の中でいかに体験を

1990年に始まった「ふれあいサマーキャンプ」は、川崎の子どもたちが本市と友好関係を結んでいる市町村に行き、緑豊かな自然の中で過ごしなが、地元の人々と交流を図り、地域の文化伝統に触れるなどの体験ができる事業です。

昨年までに3,500人以上の子どもたちが参加しました。キャンプを通じての新しい出会いやたくさんの発見は、夏休みのすばらしい思い出となることでしょう。あなたも緑あふれる大自然の中で心も体もリフレッシュしませんか。小中学生のみなさんの申し込みをお待ちしています。

清流での水遊びを楽しむ（宮崎県 東郷町・南郷村コース）



収穫された玉ねぎに驚く子どもたち（北海道岩見沢コース）

サマーキャンプ日程表

コース	日程	対象・定員	交通手段・おもな内容	参加費
北海道 中標津町	8月23日(月)～26日(木) (3泊4日)	小5～中2 44人	往復飛行機。ハイキング、溪流つり、じゃがいもほり・学校交流など	小学生 56,000円 中学生 61,000円
北海道 岩見沢市	8月21日(土)～24日(火) (3泊4日)	小5・6 22人	往復飛行機。キャンプ、じゃがいもほり・玉ねぎほり・学校交流、ホームステイ2泊など	小学生 48,000円
岩手県 東和町	7月30日(金)～8月2日(月) (3泊4日)	小5・6 60人	往復新幹線。ホームステイ3泊、学校交流、さき織り、和紙作り、ダム見学、農家生活など	小学生 35,000円
長野県 富士見町	7月29日(木)～8月2日(月) (4泊5日)	小5～中2 44人	往復貸切バス。ハイキング、おっこうまつり参加、フィールドボード、そばうちなど	小・中学生とも 22,000円
和歌山県 古座町他	8月4日(水)～8日(日) 4泊5日(船中1泊)	小5・6 22人	往復フェリー。ホームステイ1泊、カヌー、まぐろ養殖体験、子ども交流など	小学生 32,000円
宮崎県 ①日向市 門川町 ②東郷町 南郷村 ③西郷村 北郷村 ④椎葉村 諸塚村	7月31日(土)～ 8月5日(木) 5泊6日(船中2泊)	①小5～中2 22人 ②小5・6 22人 ③小5・6 22人 ④小5・6 22人	往復フェリー。 ①ホームステイ2泊、漁業体験、夢人島、陶芸、海水浴、地元子どもたちとの交流など ②川遊び、カヌー、陶芸体験、おかし作り、すいかわり等 ③川遊び、豆腐づくり、木工、流しそうめん、星の観察等 ④川遊び・しいたけ採取、ハーブ作り、カヌーなど	小38,000円・中40,000円 小学生 35,000円 小学生 37,000円 小学生 36,000円



▶雄大なクテクンの滝をバックに(北海道中標津コース)

■たのしかったサマーキャンプ
6年 菱沼里依(北海道・中標津コース)
サマーキャンプの初めの日、私はわくわくした気持ちとちょっぴりさみしい気持ちがありました。でも1日目からのすごくなじめて楽しくて、おまけにいっぱい友達ができました。

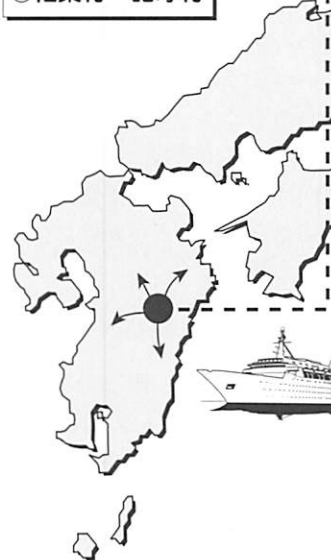
宮崎県 海

①日南市・門川町

大型豪華フェリーの船旅で宮崎へ 海や山でのプログラムがもりたくさん

宮崎県 山

- ②東郷町・南郷村
- ③西郷村・北郷村
- ④椎葉村・諸塚村



北海道 中標津町

人より牛の多い酪農の町

北海道 岩見沢市

札幌のペットタウンと農業の町

岩手県 東和町

イーハトーブ・まほろばの里

長野県 富士見町

自然と星空
八ヶ岳の魅力



◀地元の名人からはた織りを教わる(岩手県東和町コース)

川崎市

和歌山県

古座町・古座川町・那智勝浦町・串本町

熊野の大自然はほんまもん



◀身を乗り出してウナギを見る子どもたち(宮崎県椎葉村・諸塚村コース)

■宮崎県は自然の町

6年 小森千咲(宮崎県東郷町・南郷村コース)
宮崎県に着いて最初に思ったことは“緑が多い”ということ。あたりを見回しても一面に山が広がっている。とてもここが日本とは思えなかった。山の近くにある川はどこもすんでいて、立っていても底が見えた。魚もいた。カヌーやカヤック、飛び込み、魚、カエル取りなどみんなが一人一人自由に自分の好きなように遊ぶことが出来た。

申し込みはファックスまたはハガキで 6月16日(水)締め切り

申し込みの際は、希望者全員(2人以内)の〒、住所、氏名(ふりがな)、☎、性別、学校名・学年、希望コース(第2希望まで)・過去の参加の有無を明記し、下記までお送りください。定員を超えた場合は抽選となります。当選者は後日説明会に保護者同伴で参加してください。

●あて先● 〒211-0064 川崎市中原区今井南町514-1 川崎市生涯学習振興事業団 学習推進室あて
●FAX● 044(739)0085 ※問い合わせ ☎044(733)5893(月～金) ☎(733)5560(土・日)

いま地域で学校で

宮前区にある向丘中学校（操雅子校長、生徒数587人）では、「総合的な学習の時間」を使い、昨年5月から約1年間にわたって絵画の制作と合唱を通して平和について考える「芸術総合」に取り組みました。3月5日には、その集大成として発表会が行われました。今号は、コーナーを拡大して向丘中学校の「芸術総合発表会」の様子をお伝えします。



絵画の共同制作と合唱を通して平和を学ぶ

「芸術総合」発表会—向丘中学校

体育館の壁面に掲げられた巨大な絵画が見るものを圧倒する。地球を抱える胎児を花で囲んだ「かけがえのない命」、希望に向かって駆け抜ける馬と真実を見つめる大きな瞳の「希望の力」、光へと伸びていく木の根と地球上の全ての時と命を描いた「同じ時、同じ命」。縦3.49m、横7.76mのキャンバスにアクリル絵の具で描かれた絵は、ピカソが反戦のメッセージを込めた「ゲルニカ」と同じサイズで、制作には全生徒が携わった。

同校は昨春、「特色ある学校づくり」の研究推進校として、音楽と美術による合同の「芸術総合」の授業計画をたて1年後の発表に向けスタートした。1年から3年までの16クラスを、学年をこえて3グループに分けて活動した。「平和に対する思いを絵にする」ことの最初のステップとして、1学期は戦争やその被害の実態を映像などで学び、教科の枠をこえてさまざまな角度から「平和とは何か」について考えたという。その後、一人ひとりが「平和」のイメージを絵にして、その中から原画としてどれを採用するか話し合っ決定した。

発表会では、展示した絵の下でグループごとに合唱を披露。国語の時間に歌詞の意味や背景を学び理解を深め、歌は隔週一度のペースで練習した。曲は広島原爆の悲劇を描いた「消えた八月」（作詞・栄谷温子、作曲・黒沢吉得）、地球の平和を願う「IN TERRA PAX（インテラパックス）」（作詞・鶴見正夫、作曲・荻久保和明）、国境を越えた平和への思いをたくした「そのひとがうたうとき」（作詞・谷川俊太

郎、作曲・木下牧子）の3曲で、詩の朗読を交えながら演奏した。力強い重厚なハーモニーが体育館に響き渡り、訪れた500人の胸を打った。発表が終わり静まりかえった会場に、やがて大きな拍手が沸き起こりいつまでも続いていた。

3枚の絵は、世界の子どもの手によって平和の絵を制作する「キッズゲルニカ」国際展示会に出品し、向丘中学校の平和メッセージとして世界に向けて発信される予定。

操校長は「この経験が命の大切さを考えるきっかけになってくれればいいと思っています」と話した。

【生徒の感想】

- 戦争について学んだ時、同じ地球上なのに、国と国とで差があるのに驚いたし悲しかった。『消えた八月』の曲にある『僕は影になった。君は物になった』という歌詞の意味がわかって、戦争がとても怖いことだと改めて感じた。（1年女子）
- 平和についての考えは人によってさまざまだと思う。平和のタイプはいろいろあるけれど、ただ一つ共通しているのは「壊れやすい」ということだ。（2年男子）
- 国語の授業で戦争が好きか嫌いかと問われ、僕は答えを出すのに時間がかかった。枯葉剤による奇形児の本を読んだ時、気持ち悪いとしか感じる事が出来なかった。しかし、一年間やっていくうちに、今必要なのは日本・世界について、そして平和について考えようとする積極的な姿勢だと思うようになった。（3年男子）

ぐるーぷBOX

60歳からの和太鼓

「壽（ことほぎ）太鼓」

「それ、それ、そーれ」の掛け声に合わせて、締め太鼓、長胴（宮）太鼓、桶（かつぎ）太鼓、平太鼓をリズムカルに叩き練習に励んでいるのは、60歳からの和太鼓グループ「壽（ことほぎ）太鼓」（中田昭夫会長、メンバー14人）のみなさん。指導するのは太鼓歴8年の若くて元気な山田千登勢さん。会の誕生は2001年8月。「年をとるとなかなか地域での仲間づくりがむずかしくなるようですね。太鼓を通して新しい仲間と楽しい時間を過ごせたら」と山田さんの音頭で発足しました。今では市民まつり等のイベントや老人福祉施設からの演奏依頼も多くなり、月3回の練習にも自然と力が入ります。

現在、3つのオリジナル曲をこなし、4曲目を練習中です。太鼓は音が大きく、みんなと合わせるのが意外とむずかしいといひます。模造紙に書かれたリズム譜を見ながら一斉にバチを動かします。叩くタイミングが合わないとまた元に戻り繰り返し練習します。会長の中田さんは「曲の流れを考えて、みんなと合わせることに集中します。叩きながら他の事を考える余裕などないですね」と話しています。エネルギーに叩き、そして太鼓からエネルギーをもらいます。「太鼓の

魅力は？」と問うと、異口同音に「叩いたあとの爽快感です」という答えが返ってきました。2時間の練習を終えた表情は60歳を超えた方たちとは思えないほど若さに溢れていました。

山田さんは「会員の中に三味線や民謡の上手な方もいるので、将来そういった楽器や歌とのコラボレーション（協奏）ができれば楽しいですね」と話しています。

- ◆活動日：金曜日（月3回）9時～11時
- ◆場所：主に川崎市生涯学習プラザ
- ◆連絡先：☎(777) 7880の中田さん



くらし百景

歌壇

百合ヶ丘歌会

反射炉の脇に置かれしカノン砲潤むがごとく見ゆる葦山
 「黒い雨」を「心の三冊」に選びしは黒紫の爪光るモデル
 冷凍のチヨカじりつつぬる湯のむ舌動かせばこれ又えならず
 礼文の酷寒に耐えあつてもり草小さく見えていろ持たず咲く
 半月と赤き火星の点を眺るはるかな宇宙よ小さき人間よ
 おちば踏めば桜餅の香ふいにせり桜の若木はだか枝を張る
 去年みたる南宋渡来の美しき茶入れを見んと美術館へゆく
 水槽をめぐりて止まぬ魚らに年のはじめの節目なからむ
 羽田沖海面割りて機首入ればふるさとふいに遠くなりけり
 冬枯れの庭に真赤く色映えて紅椿三輪清らかに咲ける
 春になりぬ縹色せしスカーフを装へば古代覚むる心地す
 車椅子に老いのせゆくに「こんにち」は「ボーイソプラ」通りすぎゆく
 亡き姉の手紙何通かまじりいてわが年末の整理すすまず
 駅頭に「イエスタデー・ワンスモア」流れきて忽然と思ふ初恋の日々
 彩からのロスよりの電話「ありがと」涙の声で自立はじまる
 高台寺の秋の日差しに母・吾・娘三代むつまじ茶の湯にひたる
 陽と月が巡りて榮える不思議なる星の裏側こはアメリカ
 みしらぬ国のみしらぬ民の為に征く兵は疑問を迷彩服に
 入院の二ヶ月後吾子戻りきて「ブッダ」のこを説くと吾にいう
 雨戸引きて樅の梢の夕月をわれは密かに母と呼び来し
 愚痴・小言霞の空へ放ちやり母はおきな草老いて居眠る
 むりに歩幅合わせぬふたりキッチンに相並めば生るるちさき連帯
 咳と熱納まりし夜の静けさに枕を伝ふ脈拍の音
 ほんたうは抛り処の欲しき冬の目に雲割りて降るヤコブの梯子
 手にタンベルジンスの古い今朝は少し遅いお出ましわが帰路に会ふ
 春一番街に荒れたり家々のテレビに輸送艦ゆくニュース流るる
 開花待ちて枯身ひたすら抱きつつ名月院の岩タボ伏す
 観音はつま先はつかに浮かされたれば我身ほとりのいすくにぞおわす

※かわさき市民アカデミー二〇〇二年秋の夜間講座「短歌を楽しむ」から生まれたグループです。現在は岩田正先生を講師に毎月第一金曜日午後二時半から、秀歌鑑賞と作歌の指導をしていただいています。会場は新百合21ビル研修室。 ☎〇三(三九二四)四七四六石井

渋谷 京子

川崎千穂子

下原 芬

江國 松世

安野富有乃

戎居喜代子

坂口 洋子

吉村 恵子

岡部 紀子

大沼田嘉子

刀根 卓代

開田美代子

華野 皓子

松本 圭市

高瀬 陽子

池乗 喜代

杉立 勝人

関口 伸子

長友 くに

遠藤 照

高橋 素子

石井 照子

和佐田吟弥

佐藤千恵子

志野 彩

倉澤なが子

井上 一枝

井上 睦子

●アカデミー●

「かわさき市民アカデミー」開講

2004年度の「かわさき市民アカデミー」がスタートしました。4月から7月までの前期は、昨年度に比べると講座・演習数を合計14減らしていますが、それでも延べ2500人を超える方々が受講しています。

今期の講座の中では「シンフォニーの歩み」に300人以上、「司馬遼太郎の戦争観」と「モネの生涯と芸術」に200人以上の受講者が押し寄せています。これらの講座は、新百合トウエンティワンホールで開催しています。

また、生涯学習プラザを会場とする講座でも、著名な講師陣を揃えた「創作現場の裏表」、「心の底をのぞいたら」、古典の「平家物語をことばから読み解く」にも100人を超える人々が集まっています。

★開講式

4月8日、たくさんの受講生の参加を得て、第13回開講式が行われました。来賓挨拶で東山副市長は「かわさき市民アカデミー」が設立されるまでの経緯などに触れ「市民の積極的な参加が10年間のアカデミーを支えてきた。今後より一層、市民が参画し新たなアカデミーを作っていけるように」と話されました。

★開講式記念講演「イラク 戦争と占領」



開講式のあとに行われた記念講演では、アジア経済研究所地域研究センター参事の酒井啓子さんが「イラク 戦争と占領」について約1時間半にわたり話されました。一般公開されたこの講演には、200人以上の参加がありました。講演で酒井さんは「ファルージャ地域では、武力衝突の以前、小学校から出ていってもらうよう駐留軍に交渉に行った市民が発砲されて、犠牲者が出ており、日本での沖縄のような立場になっている。また、サドル師は若年で先鋭な主張をするが、父親が人気のある人だったので信頼がある」など、最近のイラクの状況を大変わかりやすく解説されました。

毎日のように報道されているイラク情勢も、テレビのニュースなどでは、時間的な制約があって細かい事情を知ることができない場合があります。「今日の酒井さんの解説を聞いて『そういうことだったのか』と初めて理解できた」という声が数多く聞かれました。

生涯学習ア

●まなぶ●

「プラザ陶芸教室」受講者募集

日常生活からちょっと離れて、心静かに土と向き合ってみませんか。

- 手びねり水曜コース
①8月4日～11月24日水曜 9：30～12：30 全12回
 - 手びねり土曜コース
②8月28日～11月27日土曜 9：30～12：30 全12回
 - ロクロ水曜コース
③8月4日～11月24日水曜 13：30～16：30 全12回
 - ロクロ土曜コース
④8月28日～11月27日土曜 13：30～16：30 全12回
- 【対象】 18歳以上。ロクロコースは手びねり経験者
 【定員】 手びねり…15人 ロクロ…10人（抽選）
 【費用】 手びねりコース27,000円（材料費・焼成料込）
 ロクロコース33,000円（材料費・焼成料込）
 【申し込み】 往復はがきに、「手びねり・ロクロ、水・土曜コースの別を明記し、〒・住所・氏名・☎を記入の上、下記あてにお送りください。
 〒211-0064川崎市中原区今井南町514-1
 川崎市生涯学習振興事業団学習推進室
 「プラザ陶芸教室」

【締め切り】 両コースとも7月5日(月)
 問い合わせ 学習推進室 ☎044(733)5894

●さがす●

ご利用下さい「教育人材センター」

川崎市教育人材センターでは、「教育人材の情報提供と紹介」をしています。川崎市の学校を退職した教職員が、ボランティアとして市民の皆さんの学習活動を支援しています。趣味の会、学習会、学校の授業などの講師として、皆さんのお手伝いをしています。

社会科の授業（戦時中の生活体験）に招かれた講師の話を聞いた6年生の感想

- ・「戦争は悲惨だ。平和の大切さがよくわかった」
- 水墨画講座に招かれた講師の手ほどきを受けた方の声
- ・「絵は苦手だったが、水墨画で年賀はがきを描くまでになってうれしい」
- 園芸入門講座に招かれた講師の指導を受けた方の声
- ・「庭なしでできる野菜作りがよかった」

★「人材ガイド」2004年版発行！無料でさしあげます
 ご希望の方は、140円切手同封のうえ、お申し込みを。
 〒211-0011 中原区下沼部1709-4
 川崎市教育会館内 教育人材センター
 問い合わせ 川崎市教育人材センター ☎044(435)7474

ラ・カルト

●たのしむ●

この夏チャレンジしませんか？

人気の「夏休みスノーボード教室」開催

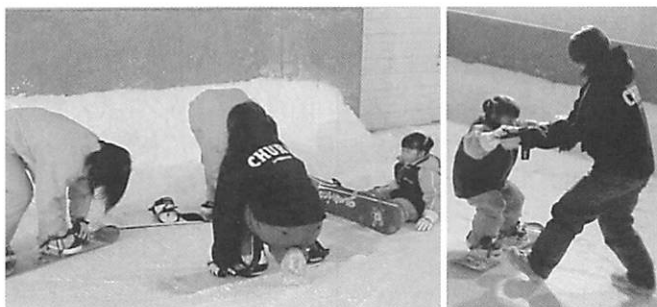
あつい夏にマイナス3度の屋内ゲレンデで「ウインタースポーツ」にチャレンジして見ませんか？スノーボード協会公認のインストラクターが、楽しくレッスンをします。

《コース・日時》

- ① 1日体験コース A 7月26日(月) 9:30~11:00
- ② " B " 12:00~13:30
- ③ " C 27日(火) 9:30~11:00
- ④ " D " 12:00~13:30
- ⑤ 3日間コース A
7月28日(水)~7月30日(金) 9:30~11:00
- ⑥ 3日間コース B
7月28日(水)~7月30日(金) 12:00~13:30
- ⑦ 5日間コース
7月26日(月)~7月30日(金) 14:30~16:00

《対象・定員》

各コースとも小学生と中学生 各15人



《受講料》

- ・ 1日体験コース 3,000円
 - ・ 3日間コース 9,000円
 - ・ 5日間コース 13,000円
- (ウェア・手袋・シューズ・ボードのレンタル料と保険代を含む)

《会場》

スノーヴァ溝の口-R246

(JR南武線「津田山駅」下車 徒歩2分)

《申し込み》

7月8日(木)必着で、往復はがきに〒・住所・^{ふりがな}氏名・年齢・身長・くつのサイズ・きき足・☎・①~⑦の希望コース名を記入し、下記にお送りください。

〒211-0064 中原区今井南町514-1

川崎市生涯学習振興事業団 学習推進室

問い合わせ 学習推進室 ☎044(733)5572

アカデミー色彩

作品の心を伝える朗読をめざして

熊谷 多佳子さん

かわさき市民フロンティアが毎年開催している「語りと朗読の会」で、芥川龍之介の作品を朗読していただいている熊谷多佳子さんをご紹介します。この会で、熊谷さんの朗読を聴いた方から「発声の正確さ、間のとり方、抑揚の巧みさはさすがだ」という感想が寄せられました。落ち着いた少し低めの声が、心にジワッと沁みこんでくるようです。



熊谷さんは麻生区在住で、5人のお子さんを育ててこられました。末のお子さんの小学校入学を機に、煩雑な日常から少し逃れて、自分のために何かを求めていた丁度この年にアカデミーが開講し、第1期生として「93演劇・映像・言語」を受講したのが朗読を始めたきっかけだそうです。その講座で江藤文夫先生との出会いにより、朗読の世界に深く関わって行くことになりました。「同じ作品を何度も読んで深めていき、自分の古典、つまり時間がたっても変わらずに残り続ける何かを見つけ出すことが大切。そうすることで他の作品理解も深まっていく」という先生のお話に大変感銘を受けたそうです。

アカデミーでのコースを修了後、97年に自主講座「朗読の会」を始めました。今でも新百合ヶ丘で月一回勉強を続けています。発表会では、各人が読みたいものを持ち寄り、一人の作家の作品にしぼってプログラムを組んだりして、さまざまな作品を取り上げています。最近は朗読ブームで、衣装に凝ったり、動き回ったり、中には独りよがりとも思えるような朗読もありますが、熊谷さんは、一切演出をせず、肉声だけで作品の心をより深く伝える朗読をめざしています。

さらに、その実力を買われ、3年前からアカデミーの「ことばと映像」コースの演習で、講師の補助として朗読の助言をするようになりました。「毎回発見があり楽しい」と目を輝かせています。

熊谷さんは「読み手と聞き手とが、ひとつの作品を通して共鳴しあえるような朗読の会が、もっともっと増えるといいですね」と夢を語っていただきました。

(かわさき市民フロンティア 矢野良子 記)

このコーナーは「かわさき市民アカデミー」の修了生による組織で地域貢献を目的とした「かわさき市民フロンティア」が担当します。

情報コーナー イベントパーク 講座・コンサート他

● 東芝科学館実験教室

①アトム工房～進化について調べよう! ②GEMS探検隊

①6月5日(土)、10時と13時半。対象は小学校1年生～3年生の親子各25組。②6月19日(土)、10時から小学1年生～3年生30人。13時半からは小学4年生～中学生30人。①②とも教材費は500円。要予約。☎☎(549)2200の同館。

●天体観望会

6月8日(火)16時半～17時半。場所は麻生区細山の川崎授産学園。130年ぶりの金星太陽面通過現象を観望。雨天中止。無料。小学生以下は大人同伴。当日直接。☎☎(954)5011。

●立松和平講演会「自作を語る」

7月7日(水)13時半～15時。会場は中原区の川崎市生涯学習プラザ。定員150人、抽選。会費500円。かわさき市民アカデミーと文学自主講座委員会の共催。☎6月25日(金)までに電話またはFaxで。☎(733)6626 / Fax(733)6697のかわさき市民アカデミー事務局。

●青少年創作センター「夏休み(前期)創作教室」

①木工作②パソコン③陶芸④トールペイント⑤版画の各教室を開催。①は7月23日(金)25日(日)26日(月)27日(火)。②は7月23日(金)25日(日)③は7月24日(土)8月1日(日)22日(日)28日(土)。④⑤は7月28日(水)29日(木)30日(金)31日(土)。対象は小・中学生、②は小学生。定員は各30人、②のみ13人。申し込み多数の場合は抽選。教材費は300円～2000円。詳細は問合せを。☎6月21日(月)までに、往復はがきに参加教室名、住所、☎、氏名、学校名・学年、性別を記し〒214-0034多摩区三田2-3303-1の同センター。☎(911)1510。

●簿記3級能力検定準備講座

7月8日～10月28日の月・木曜日18時15分から、全25回。場所は労働会館。先着35人。受講料22000円、教材費1700円程度。☎6月13日(日)9時から電話で。☎(222)4416。

●玉川大学公開講座

6月開講の「樹木を知って、森を歩く」「植物染料で染める」「メタルデザイン～金属を素材とする造形」「博物館学講座」「成人救急法講座」などの受講生を募集。詳細は☎042(739)8895の同大学継続学習センター。

●聖マリアンナ医科大学東横病院「市民健康セミナー」

6月26日(土)14時、中小企業・婦人会館。「はなみず・はなづまり・アレルギー性鼻炎の日帰り治療」について越智健太郎・同大耳鼻咽喉科副部長が講演。先着150人。無料。当日直接。他に薬などの相談コーナーも設置。☎☎(722)2121内線522の同病院総務課。

●川崎市民プラザ夏休み短期水泳教室

1期：7月26日(月)～30日(金)▽2期：8月2日(月)～6日(金)▽3期：8月19日(木)～23日(月)▽4期：8月26日(木)～30日(月)。時間はいずれも7時50分～8時50分。対象は5歳～中学生。受講料5000円。定員は各100人。☎6月20日(日)10時より受講料を添

えてプラザフロントへ。☎(888)3131。

●川崎市民プラザ夏休み子どもマジック教室

7月19日(祝)午前の部10時から、午後の部13時半から。マジックの基本とやさしいマジックの実技。対象は小学3年生～6年生。参加料500円。定員は各40人。☎7月7日(水)までに往復はがきに住所・氏名・年齢・☎・希望のコースを記入し、「市民プラザマジック教室係」へ。☎(888)3131。

●ランチタイムコンサート

6月16日(水)12時15分開演、市役所第3庁舎ロビー。東京交響楽団コンサートマスター、グレブ・ニキティン率いる東響首席奏者による弦楽四重奏。出演は、グレブ・ニキティン(バイオリン)板垣琢哉(バイオリン)武生直子(ビオラ)音川健二(チェロ)。☎☎(520)0100の川崎市文化財団。

●ビリーバンバン～チャリティコンサート

6月19日(土)14時開演。場所はエポックなかはら。前売り券3500円。☎月～金の10時～17時まで☎(434)0253川崎いのちの電話事務局。

●プラザ橋「お話し会」

6月2日、9日、16日、23日全水曜。内容は幼児・小学生を対象に絵本の読み聞かせや紙芝居、手遊びなどを行う。幼児の部は14時半から、小学生の部は15時から。場所はプラザ橋。☎(788)1531。

●浮世絵展

6月7日(月)～26日(土)まで、川崎区の砂子の里資料館。一勇斎國芳の作品「擬小倉百人一首」前期(50枚)ほか。無料。10時開館。日・祝日休館。☎☎(222)0310。

●ミニ画廊スナック「琴」①写真②ちぎり絵

①6月19日(土)まで、山田繁グループの四季の作品。②6月19日(土)～7月3日(土)まで、青空会の作品。作品の展示は無料。場所は幸区鹿島田。☎☎(544)0507。

●ユニバーサル・ファッション&介護服の作品展示

6月18日(金)13時～20日(日)14時半。多摩市民館ギャラリー。着やすくおしゃれで介護もしやすい服の展示。19日(土)10時から「高齢者疑似体験装具」を着装体験。20日(日)10時から、理学療法士による「らくらく介護とりハビリのポイント」を実習。14時からは市民モデルによるミニ・ユニバーサルファッションショー。☎☎(922)6469のグループ「糸の詩」。

●KAWASAKIしんゆり映画祭10周年企画～かわさき市民が選ぶ「もう一度みたいあの名画」「大好きな映画音楽」募集

「もう一度みたいあの名画1本」「大好きな映画音楽1曲」と、住所、氏名、☎、年齢、性別を記し6月15日(火)(消印有効)までにFax(953)7685または郵送で応募。一人につき一通かぎり。〒215-0004麻生区万福寺2-9-9。KAWASAKIしんゆり映画祭事務局「もう一度みたいあの名画・大好きな映画音楽」係。詳細は☎☎(953)7652の同係。